

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【田幸会場】

テーマ

- (1) 高齢者地域における「思いやり」事業 ①住宅確保と若者の定住対策 ②高齢者の生活支援対策
 (2) 地域応援隊の具体的な施策 (3) 自主防災
 (4) 市道西酒屋仁賀線への歩道整備

平成26年7月9日(水) 会場名 田幸コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>① ひとり暮らしや老老介護世帯の買い物難民問題や高齢者の通院手段の確保等について、市と住民自治組織が一体となって解決が図れたらいいのではないかと。</p>	<p>これからの行政は、民間や地域とのコーディネートをしながらか、その地域に合ったサービスの創出・情報提供等に努めたいと思います。介護認定を受けている人については、ホームヘルパーから買い物支援等のサービスを受けることができますが、介護認定を受けていない人で買い物支援等の必要な人が増えているというのがこれからの課題だと思います。行政以外の買い物支援としては、社会福祉協議会の「はるかぜネット」や三次市シルバー人材センターの「シルバーアシスト事業」などがあり、つなぎ役・情報提供に努めたいと思います。交通手段の確保については、地域の交通確保のために、これまではデマンド型交通・市民バス・市民タクシー等、地域の特性に合った取り組みがありますが、行政が一方的にではなく地域の住民自治組織の皆さん・交通関係者の皆さんと一緒に取り組みたいと思います。</p>
<p>② 市職員による地域応援隊について、行政と地域の協働が地域応援隊の基本となると思うが、ただ市の事業を肩代わりする、住民自治組織同士の競争を煽るような形には絶対にしてほしくない。地域おこし協力隊の検証・総括はどうなっているのか。</p>	<p>地域応援隊については、それぞれの地域の課題・問題点について皆さんと一緒に汗をかかせていただき、地域の皆さんと行政の信頼感が増していく取り組みをしていきたいです。イベントの手伝いをしていくというような内容で地域応援隊をつくっていないことをご理解ください。地域応援隊は、10月にスタートしたいと考えています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>地域応援隊に関しては作木会場の②の回答と同じ。</p> </div>
<p>③ 自主防災についての提案で、土のう袋を用意していると聞いたが、新斎場や工事現場に、実際の土のうを設置して緊急時に</p>	<p>できるだけ効果的な対応が必要なので、土のうの設置場所等について、国土交通省配備の土のうの利用や市全体への配備の考え、地域の実情等を踏まえ、個別</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【田幸会場】

テーマ

- (1) 高齢者地域における「思いやり」事業 ①住宅確保と若者の定住対策 ②高齢者の生活支援対策
 (2) 地域応援隊の具体的な施策 (3) 自主防災
 (4) 市道西酒屋仁賀線への歩道整備

平成26年7月9日(水) 会場名 田幸コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>備える方がいいのではないか。</p>	<p>に対応していきたいと思います。</p>
<p>④ 市道西酒屋仁賀線の山手交差点から国道184号線までの間に歩道がないため、非常に危険で歩けない状況である。利用者も多いので、早期に歩道の設置を実現してほしい。</p>	<p>市道西酒屋仁賀線の山手交差点からの歩道の整備について、現在、整備計画はありませんが、大きな課題として認識しています。今後の検討資料として、通学路として利用する児童数や将来推計について、神杉地区自治会連合会にも協力をお願いしたいと思います。</p>
<p>⑤ 人口減少問題については、三次市だけではなく国を挙げての大きな問題なので、行政のあり方やシステムづくりを構築する必要があるのではないか。また、住宅の確保・若者の定住対策等、働く場の確保がないと定住促進につながらない。小学校区単位で行政主導により、1軒でも2軒でも建てて定住促進できないか。</p>	<p>人口減少と少子高齢化を最大の課題として掲げ、具体的な施策をもって、10年間の重点の中で進めていこうと思っており、住民自治組織の皆さんと行政が一緒になって進めることが大事だと思っています。また、住宅に関しては、合併前の旧町村・旧三次市も公営住宅、定住住宅、若者住宅等、いろいろな手法で何とか食い止めていこうと施策を展開して、多くの人に住宅に入居していただき有益であったと思います。ご意見をいただいた住宅整備についても重要で、一緒に汗をかきたいと思います。行政が主導し、ハード整備をやっていき、協力してもらいたいです。一番大事なのはふるさとへの思い・ふるさとの良さをそれぞれの家庭・それぞれの地域で子どもたちに教えていただくことです。また、青河町では市民自ら出資して住宅を整備されていますが、これを参考にし、地域と行政がうまく組み合わせをして、様々な取り組みを進めていきたいと思っています。</p>
<p>⑥ 地域応援隊は市職員がこぞってか、ある程度人数が絞られるのか。どのような応援をしていただけるのか。事前に各地域の住民自治組織と意見のすり合わせ、連携を十分にしてほしい。</p>	<p>地域がこれからの将来に向けて歩んでいくためには、行政として様々な施策を展開し、いろいろな相談を受け止めさせていただきたいと思っています。担当している地域振興課だけが出るという考えはなく、いろいろな職種で編成していき、地域・住民自治組織の皆さんと話し合いながら、全体の市政の発展につなげていき</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【田幸会場】

テーマ

- (1) 高齢者地域における「思いやり」事業 ①住宅確保と若者の定住対策 ②高齢者の生活支援対策
 (2) 地域応援隊の具体的な施策 (3) 自主防災
 (4) 市道西酒屋仁賀線への歩道整備

平成26年7月9日(水) 会場名 田幸コミュニティセンター

意見・要望	回答
	<p>いと思っています。地域の問題について一緒に考えていこうと思いますので、意見をいただきながら最終的に決定したいと思います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 地域応援隊に関しては作木会場の②の回答と同じ。 </div>
<p>⑦ 自主防災について、避難所への非常電源確保についてどのように考えているのか。</p>	<p>コミュニティセンター・学校等の公共施設を避難場所としていますが、現状では、非常のときの電源は、すべてには対応できていません。</p> <p>しかし、緊急地方防災力強化事業として4,000万円を3年間にわたって、1億2,000万円の予算化をしていますので、予算の中で対応をしていきます。消防の器具の充実、自主防災における機器の充実等を対応していきます。また、広島県のプロパンガス協会に防災の協力をしていただいて、非常のときはプロパンガスを提供していただけるといったお話をいただいています。</p>
<p>⑧ 三良坂の小中一貫教育について、三次市は今後小中一貫教育校を何校目標にしているのか。また、塩町中学校区は中学校1校・小学校4校なので、三良坂のような方式にはならないと思うが、どのように小中一貫教育を進めるのか。</p>	<p>小中9年間でめざす子ども像は、ふるさと三次を愛し、学び続ける力と社会の一員として積極的に貢献する志を持った子どもを、連携し合って教育するという事です。三良坂の場合は一体型の小中一貫教育校で、1つの中学校、1つの小学校で小中一貫教育を行います。また、塩町では、1つの中学校と4つの小学校が連携して、めざす子ども像を実現するよう教育をしていくということになります。現在、三良坂と同じような一体型の一貫校をほかの地域で作るのは難しいと思っています。</p>
<p>⑨ 斎場問題に関する協定書について、福祉施設や農産加工場を造る協定は現在どのようになっているか。</p>	<p>斎場整備に関わる福祉施設・加工場について、現在、地元で協議会を作っただけであり、町内会連合会からも参画していただき、役員の皆さんと市で意見</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【田幸会場】

テーマ

- (1) 高齢者地域における「思いやり」事業 ①住宅確保と若者の定住対策 ②高齢者の生活支援対策
 (2) 地域応援隊の具体的な施策 (3) 自主防災
 (4) 市道西酒屋仁賀線への歩道整備

平成26年7月9日(水) 会場名 田幸コミュニティセンター

意見・要望	回答
	<p>交換や協議をしています。市役所へ役員の皆さんにお越しいただき、市長との意見交換・要望をいただき、今年度予算に300万円の予算計上をしました。計画の実現に向けて、行政としても精一杯協議を進め、可能な限り田幸の皆さんに喜んでいただける・活用していただける施設を造りたいと思いますので、今後とも協議・検討をよろしくお願いします。</p>
<p>⑩ JR福塩線の、福山～府中間が開通して100年となるが、100年に当たってセレモニーをするのか。それと同時に、今度芸備線も100年になる。塩町が、福塩線と芸備線の境になっているので、塩町の駅・地域を活性化するためにも、市からお力添えをいただいたり、セレモニー等をするようであれば、田幸にぜひ声をかけていただきたい。</p>	<p>福塩線の100周年の記念については、100年を迎えるのは福山～府中間なので、今年の100周年事業には塩町駅は影響がないということです。続いて、平成27年に芸備線は100周年を迎えます。現在、志和地駅を中心とした川地地区において、来年4月28日の100周年に合わせ地元で開通イベントをしたいと盛り上がりを見せています。6月1日前後における100周年の開通イベントについて、芸備線対策協議会の中で沿線市(広島市・安芸高田市・三次市・庄原市)、JRで調整会議を開いています。具体的に決まったものは、現在ありません。</p>
<p>⑪ 三次市は来年度から、小中一貫校の取り組みを、三良坂で検証を行ったうえで、全市に広げるといったような記事が新聞に載っていた。一方、中高一貫校を推進し、広島県へ申し入れをされていると聞いた。小中一貫教育と中高一貫教育における中学生の学力に格差を生むのではないか。さらに、中高一貫校の取り組みは、優位な人材を育てる・人口増を図るなどの目標を念頭に推進するようだが、優秀な人材が地域に残らず外部に出ることが加速するのではないか。また、小中一貫教育と中高一貫</p>	<p>中高一貫校に入るには、試験を受けることになり、中高一貫校の生徒と、小中一貫校の生徒では学力に差が出るのは否めない現実だと思います。その差を埋めるように、小中一貫教育を行う中で努力をしていきたいと思っています。中高一貫校については、現在も小学校を卒業後、市外の中学校へ勉強するために出ていく子どもたちがいることに間違いありません。市外に出なくても三次の中で中高一貫校を選択して、三次市の中で選択肢を広げて勉強していく、教育をしていくことになり、小中一貫教育と中高一貫教育が相反することなくて共存できるような形で存立できればいいと考えています。また、小中一貫校と中高一貫校が交流する</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【田幸会場】

テーマ

- (1) 高齢者地域における「思いやり」事業 ①住宅確保と若者の定住対策 ②高齢者の生活支援対策
 (2) 地域応援隊の具体的な施策 (3) 自主防災
 (4) 市道西酒屋仁賀線への歩道整備

平成26年7月9日(水) 会場名 田幸コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>教育のどちらを選択するかという悩みが出てくるのではない か。子ども・親が安心して選択できる説明をお願いしたい。</p>	<p>ことで、お互いの力を高めることができると考えています。</p>
<p>⑫ 災害について、個人の山が崩れる危険性があるという段階 で、防止処置を市でしていただけるのか。また、基準等があれば 教えていただきたい。</p>	<p>農政関係では、小規模崩壊地対策事業(単県事業)があります。また、土木関 係では、急傾斜崩壊地対策事業がありますので場所を教えてください、現場を見 て、どういう事業に当てはまるかを判断させていただきたいと思います。</p>
<p>⑬ 過去に市道で通学路に蜂が巣をして、市へ連絡したが駆除し てもらえず、学校と自治会館へ注意するように等の連絡があっ ただけだったことがあった。通報した人への連絡もなく、駆除 等の対応もなかった。このような場合の市の対応について教え てほしい。</p>	<p>通学路に蜂が巣をしているということでは、公共的な部分で市の対応となりま すが、蜂が巣をしている場所によって対応が違います。個人の山の場合と、市道 敷地内の場合では、若干対応が違ってくるともありますので、巣をしている場 所等の情報を教えてください、対応させていただきます。</p>